

言問い(こととい)：50周年記念植樹イチイに命名されたものです。

令和6年度 西春別中学校 第5号

こととい



令和6年7月26日 発行

< 校 訓 >

自 主 友 愛 有 能

< めざす生徒像 >

- ・自ら学び考える生徒
- ・心と体を鍛える生徒
- ・協働する生徒
- ・郷土を愛する生徒

発行責任者 校長 綾野 正巳

ウェルビーイングとは?! パート2

西春別中学校長 綾野 正巳

前号で予告していた「ウェルビーイングの構成要素」を紹介します。

【生徒】

ウェルビーイングの構成要素

【学校(先生)】

主観的幸福感
現在・将来・未来の
ウェルビーイング

学校生活が楽しい(今の幸せ)
心身が健康である(今の幸せ)
日常生活に不安や心配事がない(今の幸せ)
大切な人を幸せにしたり、楽しませたりして
いると思う(自分+周囲)
自分は将来幸せに暮らしていると思う
(将来の幸せ)
食事や睡眠が十分である

学校の仕事が楽しい(今の幸せ)
心身が健康である(今の幸せ)
日常生活に不安や心配事がない(今の幸せ)
大切な人を幸せにしたり、楽しませたりして
いると思う(自分+周囲)
自分は将来幸せに暮らしていると思う
(将来の幸せ)
食事や睡眠が十分である

自己実現と
自己受容

自分には良いところがあると思う
自分のことが好きである
勉強が理解できたとき、喜びを感じる
部活動や委員会活動にやる気が出る
得意なことが伸ばせる環境だと思う
苦手なことにチャレンジできる環境だと思う

自分にはいろいろな良いところがあると思う
自分のことを好ましく感じる
教育に意欲を感じる
子供の成長を実感する
指導方法や内容を学ぶ機会が提供されている

多様なつながりと
協働・向社会的

相談できる大人がいる
先生のことが好きだ
家で学校の話をしている
友人関係に満足している
クラスの居心地が良い
学校や地域、社会などで、人の役に立つことを
してみたい



相談できる人がいる
職場の居心地が良い
生徒との信頼関係がある
卒業生とのつながりがある
保護者や地域との信頼関係がある



安心安全な
環境

通学路は安全であり、安心して学校に通える
校舎や設備が快適・清潔であり、満足している

通学路は安全であり、生徒が安心して学校に
通える
校舎や設備が快適・清潔であり、生徒が満足で
きる環境である。

参考文献
『教育政策におけるウェルビーイング』 京都大学 内田 由紀子

このように整理してみると、新しい文言はほとんどありません。むしろ知っているよ!と
言いたくなるかもしれませんが、大切なポイントは、**知っていること=できていること・やっているこ
と、とは限らないところです。**一つ一つ確実に実現していくことが求められているのです。

教育の目的は、「子どもたち一人ひとりと社会全体が、現在から将来にわたって幸せで満ち足り
た状態にする」ことです。これは、現在の日本の教育政策の基本的な考えであり、別海町でも「学
びの木(生涯学習)」を軸としたウェルビーイングの向上を図っています。

体育祭では、仲間と協働しながら積極的に活動する生徒達の姿、それを温かく応援する保護者
の姿が見られました。とても素敵なウェルビーイングな状態が実現されていたのではないでしょ
うか。令和6年度は、教員数減という厳しい状況からスタートしましたが、大きな事故、ケガ等
もなく、生徒達が笑顔で過ごせていることを嬉しく思います。2学期も宜しく願いいたします。